

授業科目 リハビリテーション看護学

【担当教員名】 新谷 恵子、梨本 光枝、金谷 光子 荒木 玲子、栗原 弥生		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 生活障害に焦点をあて、その人が生活を再構築し、最適生活を営むために必要なリハビリテーション看護のあり方、具体的方法について理解する					
【学習目標】 1. リハビリテーション看護学の概念を理解する 2. リハビリテーション看護が必要な人の特徴を理解する 3. リハビリテーション看護が必要な人の評価方法を理解する 4. リハビリテーション看護過程と援助技術を事例で理解する					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	リハビリテーション看護学の考え方			1.2	講義：新谷
2	リハビリテーション看護に必要な概念と理論			1.2	講義：新谷
3	老年看護学領域のリハビリテーション			2～4	講義：梨本
4	精神看護領域のリハビリテーション			2～4	講義：金谷
5	疾患・機能障害からみたリハビリテーション看護の考え方（脳血管障害急性心筋梗）			2～4	講義：栗原
6	疾患・機能障害からみたリハビリテーション看護の考え方（ストーマ造設呼吸障害）			2～4	講義：荒木
7	疾患・機能障害からみたリハビリテーション看護の考え方（嚥下障害）			2～4	講義：梨本
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		リハビリテーション看護11	奥宮暁子	GAKKEN	2004・3,600円＋税
参考書		各担当教官が指定します			
その他の資料		ICF国際生活機能分類	WHO	中央法規	2003・3,500円＋税
【評価方法】 試験90%、出席10%			【履修上の留意点】 主体的な授業参加を望みます		